

The international forum on worldwide famous gardens and
Creation of beautiful landscape

淡路花博2015花みどりフェア

世界の庭園と景観園芸に関する 国際フォーラム 概要報告

テーマ：花みどり環境の創造と担い手

- ◆ 開催日：2015年4月25日（土）
- ◆ 場 所：淡路夢舞台国際会議場メインホール
- ◆ 主 催：淡路景観園芸学校 2015 花みどりフェア実行委員会、(一財)自治総合センター
- ◆ 協 賛：淡路花博 15 周年記念事業実行委員会
- ◆ 後 援：総務省 神戸新聞社

世界の庭園と景観園芸に関する国際フォーラム 概要報告

◆趣旨

世界の庭園と景観園芸に関する国際フォーラム「花みどり環境の創造と担い手」を淡路夢舞台国際会議場メインホールで開催しました。本フォーラムは、「ジャパンフローラ 2000」の理念を引き継いだ「淡路花博 2015 花みどりフェア」の主要プログラムの一つとして開催したものです。

本フォーラムでは、人と自然の共生を感じられる場所としての庭園を対象に、国内外の庭園における花と緑で環境を形成する活動について事例を紹介し、それらを実現するために必要な人材、資源などについて明らかにすることを目的としました。

プログラム

- ◇オープニング：弦楽四重奏
- ◇開会挨拶・来賓紹介
- ◇基調講演
 - ロングウッドガーデン教育部長 ダグラス・ニーダム氏
- ◇パネルディスカッション
 - パネラー5名とコーディネーターによるディスカッション
- ◇世界の庭園に関する写真展示
(フォーラム開催中会場に掲示)

◆開会

フォーラムは、弦楽四重奏で始まり、熊谷洋一淡路景観園芸学校学長の主催者挨拶、井戸敏三兵庫県知事による歓迎の挨拶、田中基文兵庫県造園建設業協会副会長およびポールクンストナーフィデリティ財団副理事長の来賓挨拶と進みました。

◆基調講演

基調講演としてロングウッドガーデンの教育部長である、ダグラス・ニーダム氏から美しいガーデンの紹介と人材育成に関わる各種プログラム（幼稚園児～大学生の幅広い世代の人材育成、プロの園芸家の養成、生涯教育等）の紹介が行われました。

そこでは、園芸やアートなどを通じて、人々にインスピレーションを与えていくことがロングウッドガーデンのミッションであること、美しい庭園を成り立たせるためには技術者が必要であり、さまざまな世代に対する園芸の教育を行っていることとそのシステムの事例、新しい取り組みの一つとして TRIAD という三カ国連携の教育プログラムを創設したこと、オンライン教育の試みを広げていることなどが紹介されました。



弦楽四重奏

基調講演（ダグラスニーダム氏）

基調講演（会場風景）



パネルディスカッションと写真展示風景

◆パネルディスカッション

- ◇コーディネーター
 - 平田 富士男 (Fujio Hirata : 兵庫県立淡路景観園芸学校 / 兵庫県立大学大学院 教授 (日本))
- ◇パネリスト :
 - チャールズ ハンター (Charles Hunter : ナイアガラ園芸学校マネージャー (カナダ))
 - クリス チャーマン (Chris Charman : ヒドコートマナーガーデン ゼネラルマネージャー (イギリス))
 - ダグラス ニーダム (Douglas C. Needham : ロングウッドガーデン 教育部長 (アメリカ))
 - 加藤 友規 (Tomoki Kato : 植彌加藤造園株式会社 代表取締役社長 (日本))
 - 辻本 智子 (Tomoko Tsujimoto : 淡路夢舞台奇跡の星の植物館 プロデューサー (日本))

パネルディスカッションでは、パネラーから国内外の名園での事例を報告頂き、その報告を踏まえて、景観園芸分野における人材育成についての共通点・相違点及び今後の方向性を検討しました。

カナダのナイアガラ園芸学校からチャールズ・ハンター氏、イギリスのヒドコートマナーガーデンからクリス・チャーマン氏、京都の日本庭園の管理をされている加藤友規氏、奇跡の星の植物館のプロデューサーである辻本智子氏から各々が管理もしくは運営されている庭園について、写真を交えて紹介頂くとともに、それらを管理するための人材育成について、卒業生の高齢化、人材確保の困難さ、形のない技術の伝承のむずかしさなどの意見がだされました。

また、メイン会場外において、各国の写真パネル展示を行いました。

当日は166名の参加者で席がほぼ埋まる状況であり、各国の庭園で人材育成のための教育まで行っていることや多様なプログラムが用意されていることに対して、初めて知り驚いたという意見や庭園の写真などがとても綺麗であったという感想などを頂きました。この様に、庭園などの緑の環境において必要な人材イメージやそのための人材育成のあり方について理解を深めて頂くとともに、情報発信を行うことができました。

このフォーラムの成果が、今後の花緑活動の担い手育成の一助になることを念じて報告と致します。

2015年7月

淡路景観園芸学校 2015 花みどりフェア実行委員会

